

(公財)京都市都市緑化協会		平成29年度経営計画 兼 経営努力結果	
基本事項			
所管局課	建設局みどり政策推進室	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %
「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」			
方向性	自律化	目標年度	平成32年度
「今後の方向性」に向けた基本的方針			
業務面	業務全般について、公益性を確保しながら合理化と収益性の向上を図る。特に指定管理事業では、施設活性化を一層図り利用料金収入の増加を目指す。		
財務面	平成27年度以降は京都市からの事業補助金が廃止されることを前提に、事業収益や寄附金の増収、経費の節減、公益法人の優遇税制の活用により、公益目的事業の基盤を確保、強化する。		
組織面	京都市からの派遣職員（常勤役員兼務）を平成26年度末に廃止したため、固有職員の人材育成を進め、京都市との連携態勢を築く。		
その他	京都の「緑の文化」の発信等の事業について、緑化関連団体、大学、企業、市民団体、地域団体、マスコミ等の団体との連携・協力関係を一層広げる。		
当年度の取組目標に対する意見			
所管局	平成29年度は、公益目的事業の水準を確保したうえで、梅小路公園の来園者の増加を好機として収益事業を更に拡大するなど、将来的な本市の出えん率削減に備えた財務基盤の強化の取組みが必要である。		
当年度の取組に対する総括(※)			
団体(※)	業務面では、市内各地の緑のボランティア団体の活動を支援するための京都市緑のまちづくり支援業務を受託した。指定管理業務においては、梅小路公園の新駅開業（平成31年春）を見据え、関係団体等との連携を強めた。財務面では、指定管理業務における利用料金収益が繁忙期の荒天等の影響により、前年度を下回った。また、自動販売機の販売収益も同様に前年度実績を下回った。このことから経常収益は、前年度から減少したが、経常費用の抑制により一般正味財産増減額は7期連続で黒字となった。		
所管局(※)	業務面では公益目的事業において、新たに、市内各地の緑のボランティア団体の活動を支援するための京都市緑のボランティアセンター窓口運営を含む京都市緑のまちづくり支援事業を受託した。その他、市民のニーズの把握や、新たな利用者の獲得に取り組み、新規の講習会やイベント等を積極的に実施している。指定管理業務では、梅小路公園でのJR新駅の設置工事やこれに対応する公園再整備がすすめられるなか、施設間の連絡・調整等を行い、京都駅西部エリアの活性化に取り組んだ。財務面では、利用料金及び自動販売機の販売手数料収入の減少が響き、経常収益計は前年度を下回ったが、経常費用の抑制により、当期一般正味財産増減額は1,266千円となり、7期連続の黒字を達成したことは評価できる。		
外郭団体総合調整会議(※)	梅小路公園及び宝ヶ池公園における利用料金収入は天候不順もあり、計画を達成することができなかった。引き続き、魅力的なイベントの開催等で利用者の拡大を図り、利用料金収入の増加を目指す必要がある。 都市緑化に関する事業について、連携・協力する団体数については、順調に増加している。本市における「緑の文化」の発信のため、多くの団体と連携しながら、引き続き、中心となって活動してほしい。		

(1)業務に関する取組

目標1「公園施設の利用拡大」	
中期経営計画における取組	平成27年に開園20周年を迎える梅小路公園においては、京都の緑の文化を発信する季節感に富むイベントの実施、京都水族館や平成28年開業予定の京都鉄道博物館等公園施設との連携、及び近隣ホテル等への積極的な営業活動により、利用者数を増やす。 宝が池公園子ども楽園においては、平日に家族連れが滞在しやすい場所づくり等により、利用者数を増やす。
当年度目標	梅小路公園においては、京都鉄道博物館の開業等により来園者が大幅に増加している。この状況を最大限に活かすため、「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」や「京都駅西部エリアまちづくり協議会」の関連事業に積極的に参画し、梅小路周辺エリア全体の活性化に寄与するとともに、年々定着している四季折々のイベントの充実等により、利用料金施設への集客や自主事業収入の増加を図る。 また、近年ニーズが高まる都市の生物多様性保全の取組や多様な人々の交流を図る園芸活動などを行う緑の拠点として運営を行う。 宝が池公園子ども楽園では、日常的に行き届いた清掃、施設管理を行い、居心地の良い環境づくりに努めるとともに、引き続き閑散期及び平日のイベントを積極的に実施し、利用者の拡大を図る。
当年度結果(※)	梅小路公園では、平成29年度目標値には届かなかったものの、利用料金額は前年度を上回った。また、利用料金には含まれないが、日本庭園「朱雀の庭」で11月に実施した夜間ライトアップ「紅葉まつり」には、15日間で6,021人の来園者があった。来園者には多数の諸外国からの観光客も含まれており、新たな利用者を獲得することができた。宝が池公園子ども楽園では、繁忙期である10月に2度の台風に見舞われ、駐車台数が前年度を下回った。

指標①	梅小路公園朱雀の庭・いのちの森入園料及び貸室利用料金の合計額 (単位：千円)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	7,500		10,000		12,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	6,693	7,500	9,637	10,000	10,730	12,000	—	10,934

指標②	宝が池公園子ども楽園駐車場の利用料金 (単位：千円)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	17,000		17,500		18,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	17,355	17,000	18,681	17,500	17,567	18,000	—	16,353

(公財)京都市都市緑化協会	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標2 「公益目的事業の効果・効率性の向上」	
中期経営計画における取組	公益目的事業の自律的な運営のためには、公益性を確保しつつも合理化と収益性の向上を図る必要があることから、年間100回を超えている緑化関連講習会等について実施内容を見直し、効果的・効率的な実施を図る。
当年度目標	講習会等の1回当たり参加者数は徐々にではあるが増加傾向にあり、平成29年度はアンケート結果等に基づき見直しを行い、ニーズに則したプログラム内容とすることで、一層の効率的な事業運営を図る。
当年度結果(※)	参加者からの意見や要望等を踏まえ、一部講習会等を見直すことで効果的、効率的な事業実施に努めた。その結果、1回当たりの参加者数は平成29年度目標値を達成した。

指標	緑化関連講習会等の1回当たり参加者数 (単位：人/回)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	22.5		24.0		25.0		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	21.6	22.5	22.7	24.0	24.5	25.0	—	26.0

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	265,000	292,218	286,500	312,856	311,500	310,469	
経常費用	268,000	289,248	292,500	309,053	311,500	309,203	
当期経常増減額	△ 3,000	2,971	△ 6,000	3,803	0	1,266	
当期正味財産増減額	△ 3,000	2,971	△ 6,000	3,788	0	1,266	
資産合計	—	186,566	—	199,540	—	188,945	
負債合計	—	92,131	—	101,317	—	88,556	
正味財産	—	94,435	—	98,223	—	99,489	
うち累積損益額	—	44,435	—	48,223	—	49,489	

目標1「京都市からの補助金に頼らない運営」

中期経営計画における取組	京都市からの事業補助金は、平成27年度以降は廃止されることとなる。これに対応してイベント開催等の魅力あふれる公園施設運営により利用者数を増やし、その他受託事業、収益事業は新規事業を含めた収益拡大に取り組む。これらを通じて、京都市補助金はなくとも、幅広い市民・団体向けの公益目的事業を推進する財源を確立する。
当年度目標	平成28年度は既存事業に加え、梅小路公園や都市緑化に関連する分野の事業を拡大（新規受託を含む。）できたが、平成29年度はさらに新たな事業の獲得にも取り組む。また、業務の見直しやコスト削減による収益率の改善を推し進める。
当年度結果(※)	平成29年度は、新規受託事業を1件受託した。また、利用料金及び自動販売機の販売手数料収益が前年度を下回り、経常収益計は減少したが、経常費用の抑制に取り組み、6期連続の黒字を達成した。

指標	京都市からの補助金額							(単位:千円)
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	0		0		0		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
		26,334	0	0	0	0	0	—

(公財)京都市都市緑化協会	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標2 「公益目的事業の水準の確保」	
中期経営計画における取組	各種事業や寄附金の増収，経費の節減，及び公益法人の優遇税制の活用により，公益目的事業の水準を確保する。
当年度目標	公益目的事業の計画的な事業実施や事業の質の確保に取り組み，公益目的事業の水準の確保に努める。 また，現在，収益事業として実施している一部の受託事業について，非課税となる公益目的事業として認定を受けるための研究や実績づくり（人材育成，普及啓発等）に取り組む。
当年度結果(※)	現在，収益事業として実施している一部受託事業の公益目的事業としての認定を受けるための研究や実績づくりに取り組んだ。また，公益目的事業比率は前年度から3ポイント低下したものの，平成29年度目標値を達成した。

指標	公益目的事業比率 (単位：%)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	63		63		63		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	57	63	66	63	67	63	—	64

(3)組織に関する取組

目標「京都市からの派遣職員受入れの廃止と固有職員の育成」

中期経営計画における取組	京都市派遣職員の受入れを平成26年度末に廃止したうえで、京都市と連携しつつ自律的に事業を推進するため、派遣職員の役割を引き継ぐ人材、専門的技能を持った人材等の育成又は採用を行う。
当年度目標	都市緑化分野の事業が増加傾向にあることから、平成29年度は特に園芸や造園に関する知識を持った人材や公園管理経験者の採用を行う。また、既存職員についても、公園管理に関する研修への参加や資格の取得等を行うことで、事業推進の基盤強化を図る。
当年度結果(※)	事業推進の基盤強化のため、新たなポストとして「技術顧問」を設置し、公園管理経験者1名を採用した。

指標	京都市からの職員派遣受入れ人数 (単位：人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	0		0		0		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	1	0	0	0	0	0	—	0

(4)その他の取組

目標「みどりのネットワークの拡大」

中期経営計画における取組	都市の風格を高める京都の「緑の文化」の発信、京都ゆかりの希少な植物(和の花)とその生息環境の保全、その他公園緑地の価値を高める各種事業において、緑化関連団体、大学、企業、市民団体、地域団体、マスコミ等の各団体との連携・協力関係を一層広げる。
当年度目標	希少植物の保全などに取り組む特定非営利法人KES環境機構が実施する生物多様性プログラム(京のエコロジカルネットワークプロジェクト)に引き続き参画するなど、各地域のみどりのボランティア団体への支援を広げる。平成28年度で当初目標を大きく上回る見込みだが、平成29年度はさらに拡大を図る。
当年度結果(※)	平成29年度も引き続き、京のエコロジカルネットワークプロジェクトへの参画や、各地域のボランティア団体への支援等を実施したことで平成29年度目標値を達成した。また、新たに市内各地の緑のボランティア団体の活動を支援するための京都市緑のボランティアセンター窓口運営を含む京都市緑のまちづくり支援事業を受託した。

指標	当協会が主体となる事業で連携・協力する団体数 (単位：団体)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	130		140		150		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	114	130	190	190	195	210	—	215